

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ：水

水は、私たちの身近にある大切なものです。海・川・湖・池などのほか、生活する上で欠かせない水道をはじめとして、水のおかげで生活が成り立っているとと言っても過言ではありません。身近でありながら、知らないことの多い水について考えてみませんか。

▶ リストの見方

No.	書名 著者名(出版者, 出版年)【請求記号】	【 】は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法（NDC）を元にしてしています。
-----	---------------------------	---

▶ 水を知る

1	ゼロから理解する水の基本：水の安全と環境、ビジネス最前線まで(すぐわかるすぐわかる!) 千賀裕太郎 監修 (誠文堂新光社, 2013) 【517】	私たちは、水についてどのくらいのことを知っているのでしょうか。水の恵み、水の安全や水不足といった大きな視点から、入浴効果や料理に適した水など日常生活の細かいところまで、知っているようで知らない水についての知識を多岐にわたって得ることができます。
---	---	--

▶ 水はめぐる

2	流域治水って何だろう?：人と自然の力で気候変動に対応しよう(楽しい調べ学習シリーズ) 瀧健太郎 監修 (PHP研究所, 2023) 【517.5】	近年の気候変動による大雨や、ライフスタイルの変化に応じて考えられるようになったのが「流域治水」です。気候変動にも対応しつつ、人と自然が寄り添った水害対策を考えていくことが求められています。
3	カキじいさん、世界へ行く! = Grandpa Oyster goes to the world! 畠山重篤 著 (講談社, 2024) 【666.7】	著者は牡蠣の養殖を生業とし、海を守るための植林活動である「森は海の恋人運動」を30年以上行ってきました。そのルーツとなったのは、フランスへの旅です。その旅で、著者は「森は海の生物を育てている」と確信したのでした。

▶ 生活と水

4	キャリア教育に生きる!仕事ファイル：センパイに聞く. 31 水の仕事 小峰書店編集部 編著 (小峰書店, 2021) 【C-366.2】	安心で安全な水を使うために欠かせない仕事がたくさんあります。下水道施設の職員、天然水商品の開発スタッフ、水質検査員などのほか、ゴムボートに乗って急流を下るラフティングのインストラクターなど、幅広い仕事を取り上げています。
5	トコトンやさしい水道の本 第2版 (B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ) 高堂彰二 著 (日刊工業新聞社, 2022) 【518.1】	私たちが当然のように使っている水道の歴史、仕組み、施設や技術をわかりやすく紹介しています。水道のシステムを理解して、水資源の大切さを考えてみましょう。
6	何度でも行きたい世界のトイレ ロンリー・プラネット 編 中島由華 訳 (河出書房新社, 2016) 【528.1】	トイレは、毎日の生活に不可欠です。絶景が一望できたり、市街地の人目をひく斬新なトイレのほか、険しい山の頂や砂漠といったさまざまな自然環境に適して作られたトイレなど、珍しいトイレをたくさん知ることができます。

▶ 水をあらわす

7	ガリレオ工房の水のひみつ：変化するすがた 伊知地国夫 写真 土井美香子 文 滝川洋二 監修 ガリレオ工房 監著 (さ・え・ら書房, 2015) 【452】	ふだん目にすることのない水の姿を見せてくれる本です。水道の水、シャワーの水など日常生活の中の水の形や、雨上がりのあとの水滴の形が載っています。水の形を知る中で新しい発見があるかもしれません。
8	水 (名画のなかの世界 ; 12) ウエンディ&ジャック・リチャードソン 編 若桑みどり 日本語版監修 森泉文美 訳 (小峰書店, 2006) 【723】	水を画題とした絵を集めた本です。画家によるとらえ方、描き方に違いはありますが、いずれも水から発想を得て生まれた秀作ばかりです。好きな絵をさがしてみませんか。

▶ 水中の謎

9	図説世界の水中遺跡：水底に眠る「時の証人」を求めて 木村淳, 小野林太郎 編著 (グラフィック社, 2022) 【202.5】	水中遺跡を多様な切り口で5章に分けて紹介しています。時の経過で沿岸や水辺が水底に没したもの、大航海時代の帆船、戦争によって沈んだ戦闘機や船などが写真と共に解説されています。水底に眠る「時の証人」は、歴史を赤裸々に語ります。
10	深海生物生態図鑑 藤原義弘, 土田真二, ドゥーグル・J.リンズィー 写真・文中野富美子 編集 (あかね書房, 2025) 【481.7】	地球最後の秘境は、深海と言われています。6500mの深海まで潜れる潜水船の登場により、少しずつ深海の生き物の謎がわかってきました。深い海の底に住む生き物たちを美しい写真とともに紹介しています。

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。 (<https://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh>)